

平成 26 年度 第 1 回日進市男女平等推進審議会 議事要旨

開催日時 平成 26 年 4 月 22 日 (火) 午後 7 時～8 時 10 分

場 所 南庁舎 第 5 会議室

出席委員 吉田あけみ、吉田真砂、佐藤正彦、高御堂宏、安形典子、水谷有志、大畑美和子
越智久美子、下野房子、棚瀬和美 (敬称略)

欠席委員 山田尚武、小川悦子、鶴田恵子 (敬称略)

事務局 水野和秀 (市民生活部長)、服部ゆかり (市民協働課長)、杉田武史 (同課長補佐)、
森部江美 (男女平等推進係長)、松井啓子 (同主任)

傍聴の有無 無

議事及び発言内容

発言者	内 容
	1. 開会のことば (市民協働課長) 2. 事務局紹介 (市民生活部長) 3. 委員の変更の報告・高御堂委員あいさつ 4. 資料の確認 5. 会長あいさつ 6. 傍聴の有無の確認 7. 議題
会長	議題(1)男女平等に関する市民意識調査について説明を求める。
事務局	資料 1「ご意見・ご質問等一覧表」 2「男女平等に関する市民意識調査 (案)」 3「市民意識調査内容一覧表 (平成 17, 21, 26 年度)」 4「削除設問一覧表」 参考資料「平成 17、21 年度市民意識調査票」 男女平等に関する市民意識調査につきましては、無作為抽出した市内在住の満 20 歳以上の男女各 1,250 名を対象に、7 月上旬に実施する予定です。今回の審議会にて調査内容を確定し、今後の事務手続きを進めていきたいと考え

ていますのでよろしくお願いいたします。

始めに、前回の審議会で委員の皆様よりいただいた、ご意見・ご質問等に基づいて事務局で検討した結果について説明させていただきます。

資料1に基づき説明。

続いて、資料2の表紙中「ご記入にあたって」で2点修正をお願いしたい箇所がございます。

1点目として、「事情により、ご本人様が回答できない場合は、満20歳以上のご家族の方がお答えいただいても結構です。」の説明で、本人の考えを代筆するのか、本人に代わって家族の方自身の考えを記入するのかが不明瞭となっていますので、最後に「その際は回答された方のご意見をお答えください。」を追加したいと思います。

2点目は、「ご記入は、濃いえんぴつ、ボールペン又は万年筆でお願いします。」を「ご記入は、濃いえんぴつ、ボールペンなどをお願いします」としたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

今回の調査票については、全般を通して「基本として前回(21年度)の設問内容等は大きく変更しない」という点を念頭に作成しています。

ただし、調査対象者の負担を軽減するため、できるだけページ数を少なくし、他の設問から分析(推測)可能な設問のほか、選択肢内の括弧書きなどの過度な説明は削除し、市民ニーズの把握と調査結果が施策に反映できるような調査票にまとめたいという点と、設問内容を国が実施した調査内容と同じ又は近いものに変更し、比較をしたいという点も含めてまとめています。

なお、前回の審議会で「DV加害者に関する設問を加えたらどうか」というご意見をいただきましたが、DV行為は、行為を受けた側が精神的・肉体的に苦痛に思うかどうかで判断されるのではないかと、という点が問題となり、今回は被害者側の意識に焦点をあてていきたいため、加害者側の設問は設けないことにしたいと考えています。

会長

質疑・意見を求める。

委員

資料2の表紙の説明文で「お答えください」と「回答」が混在しています

	が、意図的に分けているのでしょうか。
事務局	特に分けていませんので、どちらかに統一していきます。
会長	この部分について、前回調査から変更しないのは、こうした部分も含めて必要ですが、前回はどう書かれていますか。 また、調査票の代筆や対象者を変えるというのは、調査の基本として行わないことなので、他の人の回答を促す表記はむしろ削除してほしいと思います。男女を同数に対象者も無作為抽出しますので、調査自体のバランスを崩すことになります。
事務局	21年度調査では「宛名のご本人がお答えください」となっています。
委員	過去に代筆などの質問があったのですか。
事務局	他市町の調査票に、宛名本人が回答できない場合は家族が書いてもよいという表記があり、宛名本人が回答できないと返送されないままになってしまうことや、そうした質問も想定して追加しました。
会長	前回調査との比較のほか、調査の基本からも変更せずをお願いします。
事務局	わかりました。訂正させていただきます。
委員	無作為ということは、80歳代の方が選ばれることもありますか。
事務局	あります。
委員	抽出方法はいろいろありますが、年代別に抽出しますか。それとも年代を考慮せずに抽出するのですか。
事務局	年代は考慮せず男女の性別分けのみ行い、あとは無作為抽出です。
会長	年代を考慮する場合は日進市の母数に合わせての抽出となるため、とても難しくなりますし、これまでも行われてはいないようです。
委員	調査票の回答方法はマークシートですか。
事務局	マークシートの場合、回答がずれてしまうこともあるため、調査票へ直接記入させていただきます。
会長	本日ご欠席の委員から前もってご意見はありましたか。
事務局	お一人から、委員の皆様へ委任しますと伺っています。 また、前回提案された「夫婦別姓」の設問については、設ける予定で提案

	していく旨をお伝えしています。
委員	年金相談等で多くの夫婦とお会いしますが、別姓の夫婦は本当に数が少ないです。
会長	法律的に夫婦別姓ができないことも要因だと思います。 逆にいえば、希望は多いができないということかもしれません。
委員	資料2の問16ですが、前ページの問15を受けての設問となっていますので、問16設問文の「育児休業制度等」を「育児・介護休業制度等」とした方がわかりやすいと思います。同じように問15の設問文にも「育児・介護休業制度等」を入れた方がいいと思います。
会長	問16が「育児休業制度等」という表現になっていますが、育児も看護も介護も含めて聞きたいのか。前回調査ではどうなっていますか。
事務局	両問とも新設になります。
会長	「等」には、看護と介護を含めていると思いますが、「育児介護休業等」として「等」は看護とした方がいいと思います。
会長	問15の設問中の「休暇等」は「休業等」にした方がよいのでしょうか。介護休暇は「休暇」で、育児休業・介護休業は「休業」となっています。
委員	休暇には育児・介護休業法の定める休業も含まれているのでは。
会長	それでは、事務局で他の資料等でも確認していただくことにします。
事務局	確認して修正させていただきます。
委員	文章中で、「～たり」の次が「～たり」になっていないなど気になる点がありますが、いかがでしょうか。
事務局	再度見直しを行いたいと思います。
会長	回答に影響なく、日本語的におかしなところは直すようにお願いします。 次に、用語解説を入れていただいています。出典元も載せるようにお願いします。出典元については、ホームページは基本的にやめていただき、専門の辞典や内閣府が発行している冊子等、問題のないところから引用するなど注意していただきたいと思います。 議題(1)については以上でよろしいでしょうか。

	<p>それでは、これまでの意見を参考に事務局でまとめていただき、修正後のものについては、私と副会長で最終的に確認するというところでよろしいでしょうか。</p>
委員	(承認)
会長	議題(2)その他について説明を求める。
事務局	<p>当日配布資料 平成 25 年度男女平等教育研究実践報告書</p> <p>2 点ご説明します。</p> <p>1 点目、男女平等教育研究実践報告書について。</p> <p>本市では、第 2 次男女平等推進プランの重点施策の一つとして、「学校等における男女平等教育の推進」を掲げています。それに基づき、毎年市内の小・中学校から研究指定校を指定して、1 年間男女平等教育にご尽力いただいています。研究指定校については、昨年度から 3 校ずつ指定させていただいており、今年度は、西・東・梨の木小学校の 3 校にご協力いただきます。</p> <p>本日は、昨年度ご協力いただきました北・南・香久山小学校から提出された報告書を配布させていただきましたのでよろしくお願いいたします。</p> <p>2 点目、男女共同参画関連の図書の貸し出しについて。</p> <p>現在、にぎわい交流館の男女平等情報コーナーにおいて、男女共同参画関連図書の貸し出しを行っています。</p> <p>昨年度は、より多くの方に関連図書を読んでもらうと、岩崎台・香久山福祉会館（7/17～10/31）と、にっしん子育て総合支援センター（11/5～3/20）で期間を設けて 20～30 冊程度設置しました。貸し出し数は、福祉会館が 4 冊、支援センターが 18 冊で、お子さんが遊んでいる時にその傍で保護者の方が本を手にとっていた様子も見受けられたと聞いています。</p> <p>関連図書の設置については、今年度も市内施設と調整を図り、検討していく予定です。</p>
会長	質疑・意見求めるもなく、閉会を宣す。
	閉会 午後 8 時 10 分